



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2019～2020年度 RI会長 マーク・ダニエル・マローニー
RIテーマ ロータリーは世界をつなぐ

クラブテーマ「私たちは風土を大切に守り発展を続けていきます」

会長 山田定男

副会長 加藤正幸 幹事 石井和郎

第1429回例会
2019.10.18(金)雨

司会:藤川智徳君 指揮:田村康晃君
ロータリーソング「日も風も星も」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 山田定男君



先週の金曜日、最大規模の台風が伊豆半島に上陸しました。私は二晩、畑毛区の避難所で災害防止の対応を経験いたしました。水防委員が大型ポンプを使用し、柿沢川、来光川の水位を1cm単位でコントロールしていました。畑毛区は残念ながら64件の住宅が床上浸水してしまいましたが、堤防の決壊ギリギリのところ各地域が尽力した結果ですので、この台風がいかに驚異的な台風であったかを物語っていると思います。

翌日、浸水した64件の片付けが非常に大変でした。



スマイルボックス

加藤正幸君:皆様、台風被害どうでしょうか。地元でもかなり出てしまいましたね。狩野川台風を知っているものとしてびくびくしながら早く通り過ぎるのを祈っていました。

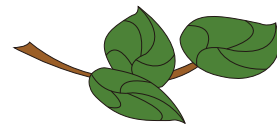
山口辰哉君:皆様、台風はいかがでしたか？

篠木喜世君:10月5日(土)にふじ運動会も終わりました。秋空に子どもたちの明るい声がひびいたことにスマイル。

原 兄多君:先日、ラグビーW杯をエコパで観戦しました。外国チーム同士の対戦でしたが、サポーターとの交流も図れとても楽しめました。

伊丹雅治君:11/1の卓話の予定でしたが、所用のため出席できなくなってしまいました。卓話の方は加藤正幸さんがこころよく交代して下さいました。加藤さん、急なお願いにも関わらずありがとうございました。

中村 徹君:久しぶりの例会です。スマイルします。



出席報告

	出席総数	出席率	会員総数	
今回	27/33	81.82%		35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

遠藤君、小島君、杉山(順)君、田中君、中本君、渡邊君

(*出席免除会員の欠席者 澤田君、山本君)

幹事報告

幹事 石井和郎君

①国際大会がホノルルで開催されます。期間は6月6日～10日。出席希望者は幹事まで申し出ください。

卓話 「2014年からの闘病について」

山口雅弘君



腎臓病になりやすい人

- 糖尿病
- 高血圧
- 遺伝

私の場合高血圧

2014年健康診断で高血圧(220-160)発覚

そのまま返され病院で受診。後日、血液検査の結果クレアチニンの上昇を指摘。1.4

CTをとり、腎不全と診断。腎臓内科のある沼津市立病院へ通う

このころはまだ、なんとも思っていなかった。

ステロイドとうの投薬を受けたが慢性腎不全なので、完治することは絶対なく、このままだと、透析、または移植以外生きられないとつけられた。

腎臓は、血圧、酸素供給、体温調整の指令を出す臓器
また、一日に腎臓を通過する血液はドラム缶数本分で、そこからろ過する血液は風呂桶一杯分
血液からヘモグロビンや毒素をぬき、尿にして排泄。
初めて妻にこのことを告げたところびっくりと同時に言わなかった事を激怒された。

2015年 病院を静岡県立総合病院に変え、妻からの臓器提供に検査に入った。

妻の血糖値が若干高いので、ドナーは無理と言われ、あきらめた。

2016年 クレアチニンが6を超え透析準備が必要となり翌2017年3月1ヶ月の入院でシャントの形成術を行った。

その事を聞きつけた妹がドナーを申し出てくれた。半年間以上の長い様々な検査の結果、マッチングも適応し11月に移植手術が決まり、10月末に入院、手術2日前にドナーに疾患があると、この時期言われキャンセル！
みなさま自殺を考えたことありますか???

2018年、妻の知り合いで妹の疾患の大学病院の専門医に相談。手術キャンセルは疑問。他の病院での受診相談をすすめられ同2月東京女子医大で移植の相談。取り寄せたかなりのデータがあるので、その結果、移植に問題は無いとの回答。5月に手術が決まった。

たとえ、非適合の場合でも血小板交換など移植できる体質にレシピエントを変えることもできる医療技術もある。

◎静岡県沼津総合病院 年間腎臓移植手術数 8件 東京女子医大 年間腎臓移植手術数140件以上

☆多 ロータリー活動中の出来事

タイ自転車贈呈に医者からダメと言われながらも参加したが、気持ち悪く何も食べられず、一晩中トイレの便器を抱えていた。帰国後、5M歩くのも必死だった。

例会中、血圧急低下により失神。予兆があったので、エレベーター前のソファで一人意識を失っていた。

5月24日 6時間半にわたりオペ。術中覚醒。少しヒヤリ

20本の管が体から出ていた。体を起こすことはダメ。右に移植したので右を下にして寝ることはダメ。足を延ばすこともダメ。繋いだ尿道が外れ再度オペする必要があるため。

術後、初めての朝食にバナナが出たので写メをとった。移植前には食生活の制限が厳しかった。自分の体で、カリウムやリンをとると処理できず心不全になるリスクが高いため禁止されていた。(バナナ・生野菜・ドライフルーツ・煮干しなど)水分の食事からも摂取するので一日500CCに制限されていた。

ところが、移植後は腎臓を働かせるため一日2.5リットル以上の飲水となり、真逆となった。経口からの飲水の他、首からの点滴でも数リットルの水分をとっていた。

4日後、立ち上がり体重を計ったが、なんと12キロ増えていた。皆様もお知り合いの見舞いに行った際は、ステロイド等により、むくむ場合もあり、患者に不快感を与える場合もあるので体系的発言要注意！！

計画的水分の摂取過多の結果。その後のリハビリはかなりつらかった。24時間、15分に一度トイレに行き排尿の数値を記載した。その結果一日1キロ以上体重が減った。3日目くらいから睡眠できない状況を自分の体が不思議に感じたのか、トイレの間隔の15分の間にはほんの2.3分で、まるで数時間寝たかのように熟睡できるようになった。

(戦地の兵隊の訓練と同じ)

手術では30~40センチくらい切ったが縫合せず、ボンドで接着したので抜糸もなく楽だった。

生涯免疫抑制剤を服用するので、退院後、飼い犬に触らない・生ものを食べない・人ごみに行かない・温泉等公衆浴場に入らない。池、川などの水に触らない など 感染症リスクを避け、急性拒絶反応にならない為の制約が出たがオペ前にくらべたら何のことはなかった。

人から頂いた体の一部により生かされていることを痛感し、無理をせず、感染症にならないよう、生活や仕事の上でも、できないことは無理をせず、それはできません。とはっきり言えるようにこれからもしていきたい。